



## 2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月7日

上場会社名 株式会社 東祥  
 コード番号 8920 U R L <https://www.to-sho.net/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 齋名裕一郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部課長 (氏名) 小林徹哉 T E L 0566-79-3111  
 半期報告書提出予定日 2025年11月14日 配当支払開始予定日 2025年12月9日  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：有（アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
2026年3月期中間期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	13,842	△0.3	3,682	27.8	3,696	26.6	1,701	26.1
	13,888	10.8	2,880	48.5	2,918	46.7	1,349	92.7

（注）包括利益 2026年3月期中間期 2,400百万円 (25.6%) 2025年3月期中間期 1,910百万円 (56.9%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
2026年3月期中間期	円 錢 44.75	円 錢 —
2025年3月期中間期	35.23	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2026年3月期中間期	百万円 72,960	百万円 43,876	% 51.1
2025年3月期	72,177	42,265	50.2

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 37,288百万円 2025年3月期 36,244百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 錢 —	円 錢 2.00	円 錢 —	円 錢 3.00	円 錢 5.00
2026年3月期	—	5.00	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	5.00	10.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
通期	百万円 26,790	% △24.8	百万円 5,880	% △0.1	百万円 5,880	% △0.9	百万円 2,330	% 89.7

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	：無
② ①以外の会計方針の変更	：無
③ 会計上の見積りの変更	：無
④ 修正再表示	：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期中間期	38,315,000株	2025年3月期	38,315,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	835,293株	2025年3月期	9,093株
③ 期中平均株式数（中間期）	2026年3月期中間期	38,021,104株	2025年3月期中間期	38,305,907株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 当中間期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10

## 1. 経営成績等の概況

### （1）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における我が国の経済動向は、名目GDPで高い経済成長となつてはいるものの、インフレ率3%前後の高い状況が続き、これが家計の実質消費支出を抑える要因となり、実質GDPの成長はほぼ横ばいから若干の上昇にとどまっています。当社グループでは、マーケットの状況、顧客行動、競合動向等の分析と洞察に基づき、組織能力と経営資源を最大限活用し、企業価値向上を最優先課題ととらえ事業活動を行いました。

この結果、当中間連結会計期間における売上高は13,842百万円（前年同期比0.3%減）、営業利益3,682百万円（同27.8%増）、経常利益3,696百万円（同26.6%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は1,701百万円（同26.1%増）となりました。

また、当中間連結会計期間の事業別の活動状況と経営成績は次のとおりであります。

#### 【スポーツクラブ事業】

スポーツクラブ事業における当中間連結会計期間末の店舗数は、2025年4月に豊田店（愛知県豊田市）、2025年6月に西一之江店（東京都江戸川区）が閉店し、また当中間連結会計期間末の2025年9月末で福井店（福井県福井市）が閉店し96店舗となり、経営資源の選択と集中が進みました。

当社が運営する「ホリデイスポーツクラブ」においては、新規会員の獲得を促進するため、入会から一定期間の月会費を通常価格より抑えた新たな会員種別を展開しております。また、一部の店舗で月会費の見直しを行い、2023年の価格改定の際に旧価格のまま据え置いておりました既存会員の会費を現行価格に統一しました。さらに、コストの上昇に対応するため、月会費の価格転嫁の他にも省エネ効率の高い設備への更新、業務プロセスの見直しによる省人化体制の構築といった、収益力強化の取り組みが費用の削減に大きく寄与しております。

この結果、当中間連結会計期間のスポーツクラブ事業の売上高は6,210百万円（前年同期比0.5%減）となりました。

#### 【ホテル事業】

子会社であるABホテル株式会社が運営する「ABホテル」においては、インバウンド需要を取り込むためOT A（Online Travel Agency）の拡充と、顧客満足度向上のため一部店舗でのウェルカムドリンクの無料提供を行い、宿泊稼働率の維持に努めました。また、人件費や資源価格の高騰に対応するため、自社清掃店舗を拡大するなどコストの削減を実施するとともに、レベニューマネジメントを行い適正価格の追求と機会費用削減に努めました。宿泊ニーズの高い立地での運営に加え、当社の主要顧客であるビジネスのお客様が堅調に推移し、インバウンド需要や特に関西圏での旅行需要が増加したことによって、1室あたりの宿泊単価は上昇しながら稼働率の適正化を図りました。

この結果、前々期までに開業した既存34店舗の当中間連結会計期間の平均宿泊稼働率は85.6%（前年同期比0.5ポイント減）となり、ホテル事業の売上高は6,019百万円（同16.6%増）と、中間連結会計期間における過去最高を更新しました。

#### 【不動産事業】

当社の不動産事業においては、所有する主力の賃貸マンション「A・City」で、入居者のニーズに合わせた設備の充実やプランの設定など、満室経営に向けた施策を実施しました。当中間連結会計期間において、2025年6月に所有する賃貸マンションのうち1棟（80室）を売却しました。また、2025年6月よりテナントビルTOSHIBA BLDG 豊田が営業を開始しています。

この結果、当中間連結会計期間の不動産事業の売上高は1,612百万円（前年同期比35.1%減）となりました。なお、所有賃貸マンション部屋数は51棟（2,040室）となりました。

### （2）当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ782百万円増加の72,960百万円となりました。主な要因は、繰延税金資産が198百万円減少した一方、現金及び預金が624百万円、営業未収入金が170百万円増加したためであります。

負債総額は、前連結会計年度末に比べ828百万円減少の29,084百万円となりました。主な要因は、長期借入金（1年内返済予定を含む。）が929百万円減少したためであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ1,610百万円増加の43,876百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 当中間期のキャッシュ・フローの概況

当中間連結会計期間におけるキャッシュ・フローにつきましては、営業活動による収入が3,569百万円あつた一方、投資活動による支出が1,606百万円、財務活動による支出が2,053百万円あつた結果、現金及び現金同等物は前連結会計年度末に比べ90百万円減少し18,914百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は3,569百万円（前年同期は2,348百万円の収入）となりました。これは主に税金等調整前中間純利益が3,767百万円、減価償却費が1,112百万円あつた一方、法人税等の支払額が1,122百万円あつたこと等を反映したものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は1,606百万円（前年同期は5,114百万円の使用）となりました。これは主に定期預金の払戻による収入が1,180百万円あつた一方、定期預金の預入による支出が1,896百万円、有形固定資産の取得による支出が978百万円あつたこと等を反映したものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は2,053百万円（前年同期は3,219百万円の収入）となりました。これは主に長期借入れによる収入が1,000百万円あつた一方、長期借入金の返済による支出が1,929百万円、自己株式の取得による支出が540百万円あつたこと等を反映したものであります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年5月13日に公表いたしました、通期連結業績予想に変更はありません。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流动資産		
現金及び預金	21,214,983	21,839,683
売掛金	687,310	784,220
営業未収入金	143,939	314,659
商品	6,737	1,797
貯蔵品	33,391	42,322
その他	345,287	715,055
貸倒引当金	△710	△1,470
流动資産合計	22,430,939	23,696,269
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	56,285,211	56,865,942
減価償却累計額	△25,083,447	△25,488,589
建物及び構築物（純額）	31,201,764	31,377,353
機械装置及び運搬具	2,006,234	2,003,338
減価償却累計額	△1,540,757	△1,576,846
機械装置及び運搬具（純額）	465,477	426,491
工具、器具及び備品	1,607,366	1,627,982
減価償却累計額	△1,455,576	△1,457,492
工具、器具及び備品（純額）	151,790	170,490
土地	11,051,308	10,846,784
リース資産	4,817,656	5,047,148
減価償却累計額	△1,967,992	△2,131,729
リース資産（純額）	2,849,663	2,915,418
建設仮勘定	772,335	586,922
有形固定資産合計	46,492,339	46,323,460
無形固定資産	73,580	66,365
投資その他の資産		
繰延税金資産	557,881	359,449
その他	2,630,004	2,524,496
貸倒引当金	△11,760	△11,760
投資その他の資産合計	3,176,125	2,872,185
固定資産合計	49,742,046	49,262,011
繰延資産		
社債発行費	4,858	2,208
繰延資産合計	4,858	2,208
資産合計	72,177,844	72,960,489

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流动負債		
買掛金	1,557	294
短期借入金	721,000	548,000
1年内償還予定の社債	5,000,000	5,000,000
1年内返済予定の長期借入金	3,958,336	3,287,926
未払法人税等	1,213,134	1,247,610
賞与引当金	123,710	107,460
役員賞与引当金	21,180	10,560
店舗閉鎖損失引当金	265,531	14,900
その他	3,148,996	3,584,724
流动負債合計	14,453,444	13,801,475
固定負債		
長期借入金	8,697,729	8,438,191
リース債務	2,539,284	2,530,698
役員退職慰労引当金	877,460	889,010
退職給付に係る負債	123,682	123,639
資産除去債務	3,060,265	3,009,029
その他	160,178	291,964
固定負債合計	15,458,601	15,282,532
負債合計	29,912,045	29,084,008
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,580,817	1,580,817
資本剰余金	2,295,784	2,295,784
利益剰余金	32,363,392	33,950,064
自己株式	△8,148	△548,772
株主資本合計	36,231,846	37,277,893
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	12,581	10,347
その他の包括利益累計額合計	12,581	10,347
非支配株主持分	6,021,370	6,588,240
純資産合計	42,265,798	43,876,481
負債純資産合計	72,177,844	72,960,489

## (2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

## (中間連結損益計算書)

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	13,888,047	13,842,908
売上原価	9,897,446	9,313,604
売上総利益	3,990,600	4,529,304
販売費及び一般管理費		
販売手数料	221,636	220,791
役員報酬	131,120	128,650
役員賞与引当金繰入額	3,530	10,320
役員退職慰労引当金繰入額	11,310	11,550
給料及び賞与	184,061	164,389
賞与引当金繰入額	21,230	13,430
退職給付費用	1,624	1,783
その他	535,770	296,110
販売費及び一般管理費合計	1,110,282	847,024
営業利益	2,880,317	3,682,279
営業外収益		
受取利息	1,280	13,829
受取配当金	2	1
受取手数料	54,243	55,441
受取賃貸料	25,117	29,703
持分法による投資利益	41,454	—
雑収入	17,135	13,965
営業外収益合計	139,232	112,942
営業外費用		
支払利息	56,528	68,115
雑損失	44,435	31,079
営業外費用合計	100,963	99,195
経常利益	2,918,586	3,696,027
特別利益		
固定資産売却益	—	12,799
資産除去債務戻入益	—	69,304
店舗閉鎖損失引当金戻入額	—	5,938
関係会社株式売却益	89,487	—
特別利益合計	89,487	88,042
特別損失		
固定資産除却損	2,402	1,345
投資有価証券売却損	55,098	—
店舗閉鎖損失引当金繰入額	—	14,900
特別損失合計	57,500	16,245
税金等調整前中間純利益	2,950,573	3,767,823
法人税、住民税及び事業税	837,056	1,166,018
法人税等調整額	200,945	199,435
法人税等合計	1,038,001	1,365,453
中間純利益	1,912,571	2,402,369
非支配株主に帰属する中間純利益	562,962	700,780
親会社株主に帰属する中間純利益	1,349,609	1,701,589

## (中間連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	1,912,571	2,402,369
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	△2,176	△2,234
その他の包括利益合計	△2,176	△2,234
中間包括利益	1,910,395	2,400,135
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	1,347,432	1,699,355
非支配株主に係る中間包括利益	562,962	700,780

## (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	2,950,573	3,767,823
減価償却費	1,301,209	1,112,955
貸倒引当金の増減額（△は減少）	2,308	760
賞与引当金の増減額（△は減少）	18,830	△16,250
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	3,530	△10,620
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	△76,300	11,550
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	4,851	△3,281
店舗閉鎖損失引当金の増減額（△は減少）	—	△250,631
受取利息及び受取配当金	△1,282	△13,831
支払利息及び社債利息	71,045	82,562
社債発行費償却	2,650	2,650
有形固定資産売却損益（△は益）	—	△12,799
持分法による投資損益（△は益）	△41,454	—
関係会社株式売却損益（△は益）	△89,487	—
固定資産除却損	2,402	1,345
投資有価証券売却損益（△は益）	55,098	—
資産除去債務戻入益	—	△69,304
売上債権の増減額（△は増加）	75,012	△267,628
棚卸資産の増減額（△は増加）	5,724	△3,991
販売用不動産の増減額（△は増加）	463,852	462,344
仕入債務の増減額（△は減少）	△4,907	△1,262
未払又は未収消費税等の増減額	△628,405	△29,425
その他の資産の増減額（△は増加）	68,395	△111,751
その他の負債の増減額（△は減少）	△286,845	109,969
その他	△553,574	—
小計	3,343,226	4,761,183
利息及び配当金の受取額	1,047	13,668
利息の支払額	△73,371	△82,917
法人税等の支払額	△922,705	△1,122,915
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>2,348,196</b>	<b>3,569,019</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△101,119	△1,896,150
定期預金の払戻による収入	—	1,180,578
有形固定資産の取得による支出	△7,579,837	△978,424
有形固定資産の売却による収入	—	12,020
投資有価証券の売却による収入	1,900,000	—
差入保証金の差入による支出	△11,100	△1,617
差入保証金の回収による収入	573,280	108,992
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	115,707	—
その他	△11,704	△31,478
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△5,114,773</b>	<b>△1,606,079</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の増減額（△は減少）	1,889,000	△173,000
長期借入れによる収入	4,000,000	1,000,000
長期借入金の返済による支出	△2,335,728	△1,929,948
配当金の支払額	△76,445	△115,121
非支配株主への配当金の支払額	△107,070	△133,848
自己株式の取得による支出	—	△540,624
リース債務の返済による支出	△149,918	△161,269
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>3,219,838</b>	<b>△2,053,811</b>
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	453,261	△90,872
現金及び現金同等物の期首残高	14,564,788	19,005,178
現金及び現金同等物の中間期末残高	15,018,049	18,914,306

## (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

## I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間連結損益 計算書計上額 (注) 2
	スポーツクラブ 事業	ホテル事業	不動産事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	6,239,936	5,147,651	937,677	12,325,264	—	12,325,264
その他の収益	—	15,540	1,547,242	1,562,782	—	1,562,782
外部顧客への売上高	6,239,936	5,163,191	2,484,920	13,888,047	—	13,888,047
セグメント間の内部売上高又 は振替高	—	22,681	13,101	35,783	△35,783	—
計	6,239,936	5,185,872	2,498,021	13,923,830	△35,783	13,888,047
セグメント利益	77,132	1,929,271	873,194	2,879,597	720	2,880,317

(注) 1. セグメント利益の調整額720千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間連結損益 計算書計上額 (注) 2
	スポーツクラブ 事業	ホテル事業	不動産事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	6,210,558	6,004,360	877,488	13,092,408	—	13,092,408
その他の収益	—	15,540	734,960	750,500	—	750,500
外部顧客への売上高	6,210,558	6,019,900	1,612,449	13,842,908	—	13,842,908
セグメント間の内部売上高又 は振替高	—	13,409	13,124	26,533	△26,533	—
計	6,210,558	6,033,310	1,625,573	13,869,442	△26,533	13,842,908
セグメント利益	679,583	2,417,687	584,289	3,681,559	720	3,682,279

(注) 1. セグメント利益の調整額720千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年5月14日開催の取締役会決議に基づき、自己株式826,200株の取得を行いました。この結果、当中間連結会計期間において自己株式が540,624千円増加し、当中間連結会計期間末において自己株式が548,772千円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。